

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 菊水化学工業株式会社
 コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠山 真人
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理本部長 (氏名) 稲葉 信彦
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-300-2222

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,379	3.6	91	△17.7	106	△11.0	58	1.2
24年3月期第1四半期	4,225	21.2	111	—	119	—	57	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 12百万円 (△63.4%) 24年3月期第1四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.71	—
24年3月期第1四半期	5.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,386	7,060	52.7
24年3月期	14,154	7,103	50.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,059百万円 24年3月期 7,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		4.00	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,640	8.1	240	△0.9	260	7.2	155	31.9	14.91
通期	20,260	9.4	806	43.9	835	43.9	480	80.5	46.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	10,716,954 株	24年3月期	10,716,954 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	499,494 株	24年3月期	514,494 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	10,256,773 株	24年3月期1Q	10,484,985 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の復興需要や政府のエコカー購入支援などにより一部で回復傾向が見られますが、欧州における債権問題の再燃や中国経済の成長鈍化、円高の長期化等の影響により、国内企業は景気の先行き不透明感が拭えず、また、雇用情勢や所得環境のきびしさ、夏場の電力不足、消費税論争に伴う消費マインドの低下、など消費者の節約志向の高まりが続くなか、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、全社を挙げてコストダウンを進めると共に、製品販売においては、「下地から仕上げまで」を販売戦略の要として新規顧客の獲得に向けて積極的な営業活動を展開し、ビルリフレッシュ工事においては、品質、安全管理の強化による販売体制を整えシェア拡大に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績として、売上高は43億79百万円と前年同四半期と比べて1億54百万円の増収を計上することができました。

利益面におきましては、営業利益は91百万円と前年同四半期と比べ19百万円の減益、経常利益は1億6百万円と前年同四半期と比べ13百万円の減益、四半期純利益58百万円と前年同四半期と比べ0百万円増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(製品販売・工事)

製品販売・工事においては、既存建築物の長寿命化のポイントとなる本体構造の健全化と、仕上材でいかに建物の魅力を引き出し保護するかを考え「”人と建物と色” ソーシャルワーカーの提唱」と題したセミナーを開催し、住宅・建築業界の更なる活性化に向けて活動しました。

さらに、住宅、建設関連業者向けに下地から仕上げまでの幅広い商品ラインナップに努めるとともに好調なリフォーム需要の取り込みの結果、製品販売・工事の売上高は42億81百万円と前年同四半期と比べて2億40百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億29百万円と前年同四半期と比べ7百万円の減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、従来は当社製品の購買先の観点から「材売・工事」としていた報告セグメントの名称を、当社製品の販売である点に着目して「製品販売・工事」に名称変更し、「製品販売・工事」と「セラミック」に区別しておりますが、報告セグメントの区分方法に変更がありませんので、金額における影響はありません。

(セラミック)

セラミックにおいては、電機、電子部品業界の受注がかなり減少しました。顧客別の受注差が大きく、全体を押し下げる結果となりました。また、機構部品については昨年からの低迷状態から脱することができていない状態です。その結果、セラミックの売上高は97百万円と前年同四半期と比べて85百万円の減収となり、セグメント損失(営業損失)は37百万円と前年同四半期と比べ12百万円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は133億86百万円(前連結会計年度末比7億68百万円減)となりました。

これは主として受取手形及び売掛金が9億円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は63億25百万円(前連結会計年度末比7億25百万円減)となりました。

これは主として支払手形及び買掛金が4億6百万円減少、未払費用が2億94百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は70億60百万円(前連結会計年度末比43百万円減)となりました。

これは主としてその他有価証券評価差額金が46百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は、復興需要による一部経済の回復傾向は予想されますが、欧州諸国の財政問題の影響等により、企業収益の回復及び雇用環境の改善については、依然、不透明な状況で推移するものと思われれます。

当社グループにおきましては、引き続き、全社を挙げてコストダウンをさらに進め、生産性向上や高付加価値商品の拡販に取り組んでまいります。

業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに平成24年5月11日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<p>(減価償却方法の変更)</p> <p>当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。</p> <p>なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。</p>

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,696,707	2,846,144
受取手形及び売掛金	5,498,607	4,598,267
商品及び製品	470,345	515,609
仕掛品	175,207	176,850
原材料及び貯蔵品	245,995	248,116
繰延税金資産	169,924	169,924
その他	251,729	285,243
貸倒引当金	△9,277	△8,190
流動資産合計	9,499,241	8,831,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	735,249	719,248
機械装置及び運搬具（純額）	148,165	139,383
土地	1,497,931	1,497,931
リース資産（純額）	203,903	193,354
その他（純額）	52,430	50,784
有形固定資産合計	2,637,680	2,600,702
無形固定資産		
のれん	35,223	32,313
その他	70,967	65,129
無形固定資産合計	106,190	97,443
投資その他の資産		
投資有価証券	913,058	859,761
繰延税金資産	205,647	212,491
長期預金	610,000	610,000
その他	188,862	174,706
貸倒引当金	△6,046	△1,028
投資その他の資産合計	1,911,521	1,855,931
固定資産合計	4,655,392	4,554,077
資産合計	14,154,633	13,386,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,003,735	2,596,777
短期借入金	1,450,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	115,612	45,612
1年内償還予定の社債	68,800	68,800
リース債務	34,510	34,819
未払法人税等	67,740	51,929
その他	1,031,963	740,066
流動負債合計	5,772,362	4,988,004
固定負債		
社債	282,400	268,000
長期借入金	226,533	277,630
退職給付引当金	466,987	470,550
役員退職慰労引当金	179,632	179,047
その他	123,151	142,350
固定負債合計	1,278,704	1,337,577
負債合計	7,051,066	6,325,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,394,100
資本剰余金	1,092,160	1,092,160
利益剰余金	4,835,390	4,831,129
自己株式	△255,636	△248,286
株主資本合計	7,066,014	7,069,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,159	△9,785
その他の包括利益累計額合計	37,159	△9,785
少数株主持分	393	1,143
純資産合計	7,103,567	7,060,461
負債純資産合計	14,154,633	13,386,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,225,488	4,379,662
売上原価	3,116,056	3,223,575
売上総利益	1,109,432	1,156,086
販売費及び一般管理費	997,764	1,064,227
営業利益	111,667	91,859
営業外収益		
受取利息	1,724	1,557
受取配当金	7,162	7,865
仕入割引	2,493	512
受取ロイヤリティー	—	2,521
その他	5,517	10,451
営業外収益合計	16,898	22,908
営業外費用		
支払利息	4,410	3,795
減価償却費	2,185	1,548
売上割引	1,734	2,358
その他	595	611
営業外費用合計	8,926	8,314
経常利益	119,639	106,453
特別損失		
固定資産除却損	1	—
会員権評価損	1,555	—
特別損失合計	1,557	—
税金等調整前四半期純利益	118,082	106,453
法人税等	59,902	46,950
少数株主損益調整前四半期純利益	58,180	59,503
少数株主利益	203	857
四半期純利益	57,977	58,645

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58,180	59,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,190	△47,052
その他の包括利益合計	△24,190	△47,052
四半期包括利益	33,990	12,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,724	11,700
少数株主に係る四半期包括利益	265	750

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成 23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,041,734	183,754	4,225,488	4,225,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,041,734	183,754	4,225,488	4,225,488
セグメント利益又は損失(△)	137,020	△25,353	111,667	111,667

(注) 報告セグメントの利益又は損失(△)の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,281,759	97,902	4,379,662	4,379,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,281,759	97,902	4,379,662	4,379,662
セグメント利益又は損失(△)	129,592	△37,733	91,859	91,859

(注)1. 報告セグメントの利益又は損失(△)の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメント名称の変更

当第1四半期連結累計期間より、従来は当社製品の購買先の観点から「材売・工事」としていた報告セグメントの名称を、当社製品の販売である点に着目して「製品販売・工事」に名称変更し、「製品販売・工事」と「セラミック」に区別しておりますが、報告セグメントの区分方法に変更がありませんので、金額における影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報においても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。